

協会けんぽ鳥取支部長コメント

当支部では、これまで、がんや心疾患、糖尿病といった生活習慣病を予防するための事業を行ってきましたが、単独の努力だけでは解決や改善できない課題も浮かびあがってきました。

そのため、県内の関係者とのネットワークづくりを積極的に進めてきた結果、県・労働局・鳥取大学医学部との連携が進み、昨年5月には鳥取県と協会けんぽ加入事業所・協会けんぽが一緒になって取り組む「健康経営マイレージ事業」がスタートしました。また、各市町村との連携事業も、昨年4月の琴浦町を始めとして順次進んでいます。

この度の協定は、市町村としては4番目となりますが、県内4市のなかでは初めての協定となります。鳥取支部では、今後、鳥取市との協力・連携のもとで次の三つの事業を柱として取り組むことを考えております。

1. 特定健診及びがん検診受診率向上への取り組むこと。

健康づくりへの第一歩は、まず健(検)診を受診し、健康状態を確認することですが、健(検)診受診率が双方の大きな課題です。協会けんぽのご家族の方には、市内の健(検)診会場で特定健診とがん検診をセットで受けていただくよう、併せて、共同広報や健康づくりイベントなど各種向上策に市当局のご協力のもと取り組みます。

2. 鳥取市民の健康状態を把握し、対策を打つこと。

協会けんぽと鳥取市国保・後期高齢者を含め約13万人、市民の約7割の医療費や健診結果データの分析が可能となります。様々な分析のなかで、市民のより正確な健康課題を把握し、市当局のご協力のもと、対策を実施していきます。

3. 健康づくりへの有効情報の共有化を進めること。

健康づくり事業を進めるためには、有効情報を関係者間で共有し、事業に活かすことが欠かせません。本協定がその契機となって、県下全域へ拡がるよう取り組みます。



支部長 石本 健一

